

Actiphy Rapid Deploy

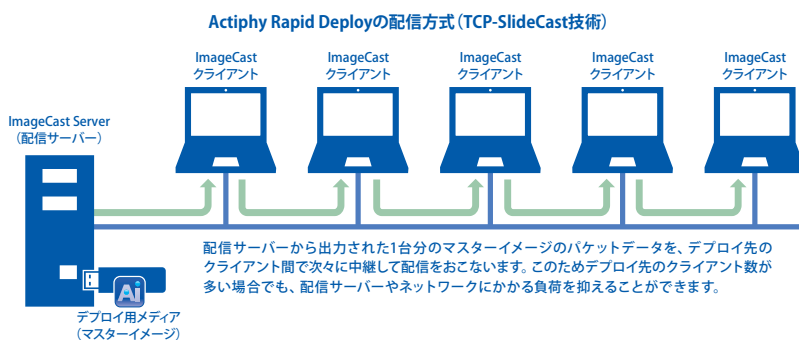
ネットワーク経由でのデプロイも可能なキッティングツール

Actiphy Rapid Deploy™ とは

Actiphy Rapid Deploy™は、システムインテグレーターやVAR / OEM向けに、従来製品のActiveImage Deploy USBのマスターイメージの作成、デプロイ（展開）機能に加えて、ネットワーク経由での一斉配信によるデプロイも可能な新たなキッティングツールです。これにより、大規模なキッティングを繰り返しおこなう環境などでは、作業時間の軽減が期待できます。

効率的なネットワークデプロイを実現

今回独自開発したTCP-SlideCast™技術によって、クライアントPCの数に影響を受けずに、配信サーバーやネットワークの負荷を抑えたデプロイを実行可能です。ユニキャストでのデプロイでは、クライアント数が増えると配信サーバーの処理が高負荷となり、ネットワークの帯域も圧迫されます。また、マルチキャストでのデプロイはフローコントロールが難しく、転送効率が悪くなります。TCP-SlideCast™は、P2P (Peer to Peer) 技術でクライアント間で送受信をおこなうデプロイが可能のため、データ転送を分散することでネットワーク経由でのデプロイ作業の効率を飛躍的に高めました。従来製品と同等なデプロイ用メディアを使用した、スタントアロン方式のデプロイをおこなうこともできます。



Actiphy Rapid Deploy™導入のメリット

- 定期的な大量のキッティング作業をおこなうデプロイ環境を簡単に構築が可能
- ネットワーク経由での一斉配信によるデプロイの進捗管理が可能
- デプロイに使用するマスターイメージを組み込んだデプロイ用メディア作成時間の短縮（作業台分のデプロイ用メディアの作成は不要、デプロイ作業ごとに1つ作成）

Actiphy Rapid Deploy™の製品構成

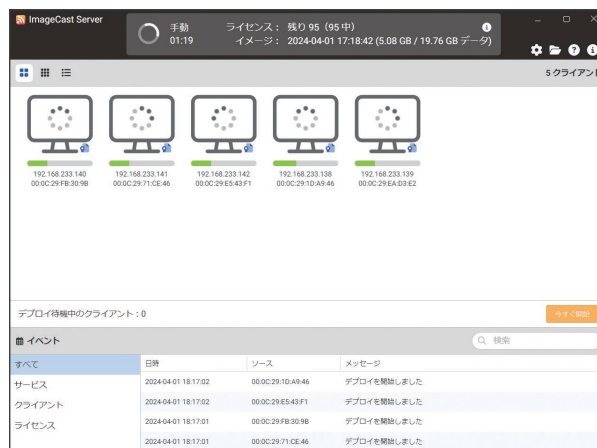
Actiphy Rapid Deploy™ は、Deploy Media Creator™（従来製品のActiveImage Deploy USBをベースに改良）と新しく開発したImageCast Server™で構成されます。

Deploy Media Creator™ :

マスターイメージ作成用のデプロイ用メディア、ImageCast Server™にクライアントから接続するための起動メディア (ImageCastクライアント) などの作成をおこないます。

ImageCast Server™ :

ImageCast Server™は、ネットワークによる一斉配信でのデプロイや進捗状況を管理する配信サーバーです。デプロイ用メディア内に作成したマスターイメージを簡単かつ高速にデプロイできます。

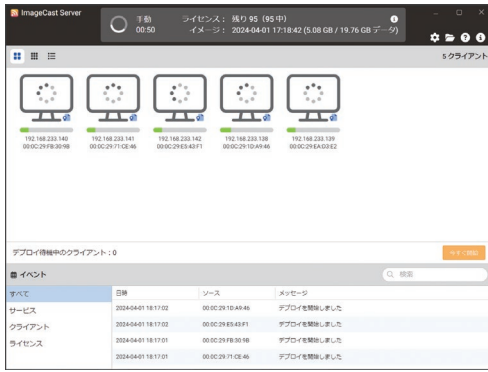


基本機能と特長

ネットワークによる一斉配信でのデプロイ

ネットワークによる一斉配信でのデプロイは、ImageCast Server™（配信サーバー）からおこないます。デプロイ作業は、ImageCast Server™にマスターイメージを格納したデプロイ用USBメディアを接続し、デプロイ先のクライアントPCをImageCastクライアントメディアから起動して接続するだけで、簡単におこなえます。

デプロイ処理の進捗状況



従来のスタンドアロンでのデプロイも可能

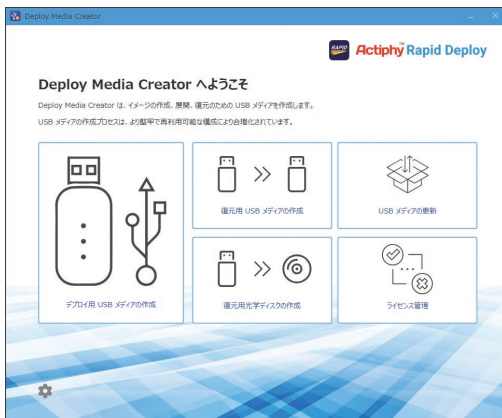
マスターイメージを組み込んだデプロイ用USBメモリから起動して、専門のスキルを必要とすることなく、ワンクリックで高速にデプロイ作業をおこなえます。



Deploy Media Creator™

Deploy Media Creator™は、作業用PCにインストールして、デプロイ用USBメディア / ImageCastクライアントメディア / 復元用メディアの作成、USBメディアの更新などを簡単におこなえます。

Deploy Media Creator™のインターフェース

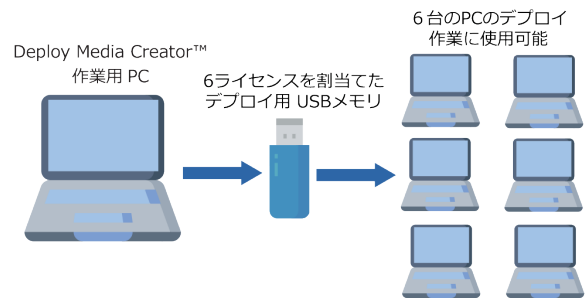


Windows RE (Windows回復環境) ベースの起動環境の作成

デプロイ用、クライアント起動用、復元用USBメディアの起動環境は、Windowsに標準でインストールされているWindows RE (Windows回復環境) を使用して作成できます。また、Windows RE ベースの起動環境に独自にドライバーを組み込むことも可能です。

デプロイ用 USBメディア

作成したデプロイ用USBメディアは、デプロイに使用するマスターイメージの作成に使用します。作成の際には、デプロイ作業に使用できるライセンス数の割り当をおこないます。例えば、6ライセンスを割り当てたデプロイ用USBメモリを作成した場合は、6台のPCのデプロイ作業に使用できます。



ワンクリックでマスターイメージを作成

マスターイメージの作成は、マスターPCをデプロイ用USBメモリから起動して、ワンクリックで完了です。保存先やファイル名の指定など、エンジニアが入力をおこなう必要は一切ありません。イメージは、作成したデプロイ用USBメモリの2番目のボリューム内に格納されます。このイメージを任意の場所にコピーして、デプロイUSBメモリの作成の際にイメージ指定して組み込むことができます。

デプロイ用USBメディアのインターフェース



ImageCastクライアントメディア

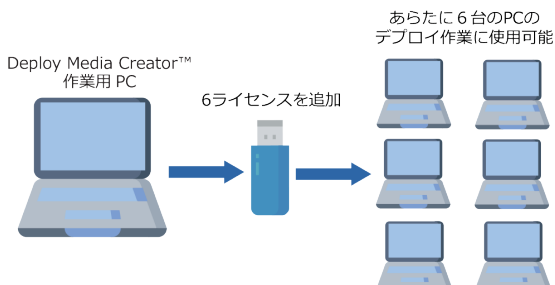
作成したImageCastクライアントメディアは、クライアントPCから起動して、ImageCast Server™へ自動的に接続をおこないます。配信サーバーの指定など、エンジニアが入力をおこなう必要は一切ありません。また、ImageCast Server™への接続が完了したら、メディアを取り外すことが可能です。

ImageCastクライアントの接続完了画面



デプロイ用USBメディアへのライセンス追加

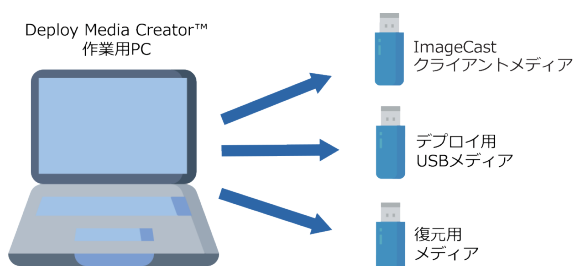
デプロイ用USBメモリに割り当てられた数のライセンスを消費（1回のデプロイで1ライセンス消費）した場合は、Deploy Media Creator™のコンソールからライセンスを追加することができます。追加されたライセンス数分が、引き続きデプロイ作業に使用できるようになります。



USBメディアの複数同時作成

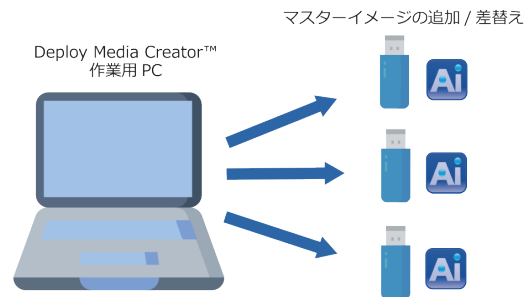
複数のImageCastクライアントメディア / デプロイ用USBメディア / 復元用USBメディアを最大30個、同時に作成することができます。複数のUSBスロットがあるPCでは、USBメディアの作成時間の短縮が可能です。

※当社検証PCによる作成時間の測定値は、ImageCastクライアントメディアを1本作成時：約2分、3本同時作成時：約2分10秒で、1本と大差のない作成時間を確認しています。



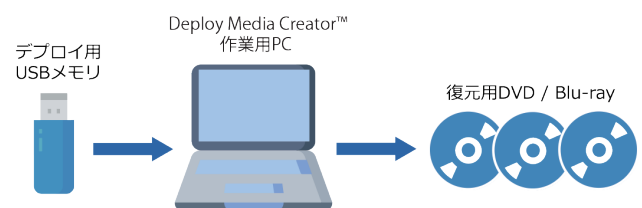
デプロイ用メディアへのマスターイメージの追加 / 差替え

デプロイ用USBメディアへのマスターイメージの追加や差替えは、デプロイ用USBメディアを再作成することなく、ライセンスを保持したままおこなうことができます。



復元用メディアとして、DVD / Blu-rayにも作成可能

Actiphy Rapid Deploy™ Plusでは、デプロイ用に使用したマスターイメージを組み込んだ復元用メディアを作成し、エンドユーザー向けのPCに添付して出荷することが可能です。エンドユーザーは、ワンクリックでPCを納入時の初期状態に戻すことができます。また、復元用メディアは、USBメディアの他に、DVD / Blu-rayにも作成できます。これにより、セキュリティの確保やメディアのコスト削減といったニーズに、柔軟に対応が可能です。



復元用メディアのインターフェース



マスターイメージ作成専用の起動環境

バックアップ専用のUSBメモリを作成することができます。複数種類におよぶマスターPCのキッティング作業において、エンジニアが分担してバックアップ用USBメディアを使用し、マスターイメージの作成をおこなえます。

※バックアップ用USBメモリの作成、および使用における追加ライセンスは不要です。



複数のライセンスキーを管理

ライセンス管理画面から複数のライセンスを追加して管理できます。クライアント企業毎のライセンス管理もおこなえます。

